

2 古代オリエント世界

つぎの文章(A・B)は、メソポタミア文明・エジプト文明に関して述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。

A. 前3000年ころ、シュメール人によって、メソポタミア南部に(a)ウル・ウルク・ラガシュなどの都市国家が**つくられた**。それぞれの都市は独立しており、領土や交易路などをめぐって争いがくりかえされた。その結果、優勢な都市国家の支配層には富が集まり、壮大な神殿・宮殿などが**つくられ**、シュメール文化は**繁栄した**。しかし、周辺の異民族の侵入があいついだことで、シュメール人のメソポタミア支配は安定せず、しだいに都市国家は**おとろえ**、(b)前24世紀ころ、アッカド人によって**征服された**。(1)語系のアッカド人は周辺地域にも侵攻し、広い地域に覇権をおよぼしたが、その後、シュメール人の都市国家が独立を回復し、ウル第3王朝などが**繁栄した**。しかしウル第3王朝は異民族の侵入をうけて滅びた。

前19世紀、メソポタミアに侵入した(2)人により建てられたのが、(c)バビロンを都とする(d)古バビロニア王国(バビロン第1王朝)であった。この王国の(e)ハンムラビ王はメソポタミアを統一し、強力な専制国家をつくった。

B. 前3000年ころ、エジプトでは、上エジプトと下エジプトを統一した王国が成立した。前27世紀の第3王朝時代には、ファラオの権力は極めて強力なものとなり、メンフィスを都とする古王国が成立した。古王国の繁栄は前22世紀までつづいたが、その間、ピラミッドがいくつも建設された。ギザに残る壮大な(f)3王のピラミッド(3大ピラミッド)もこの時代に建設されたものである。前21世紀から前18世紀までは、テーベを都とする中王国の時代であった。古王国が外部から孤立していたのと対照的に、中王国はシリアや(g)クレタ島などとの通商を盛んにおこなったり、紅海沿岸地帯に進出したりした。その後、エジプトは、外部から侵入してきたアジア系遊牧民によって支配された時期を経て、前16世紀に、エジプト人による再統一がなされ、新王国時代を迎える。この時代にはシリアにまで進出し、(h)ミタンニヤと抗争を重ねた。第18王朝の王アメンホテプ4世は、自らの名前を(3)とあらため、都をテーベからテル=エル=アマルナに移し(i)宗教改革を断行したが、結局この改革は王の死で挫折した。新王国の隆盛は第19王朝の王

(㉔)の時代においてもなおつづいた。(㉔)はカデシュでヒッタイトと戦い、文献に残る最古の和議を結んだり、アブ = シンベル神殿をはじめ多くの神殿を建てるなどした。前7世紀前半、エジプトはアッシリアに占領され、その後、(㉑)前525年にアケメネス朝ペルシアに征服され、独立を失うこととなった。

設問1. 空欄(㉑ ~ ㉔)に入るもっとも適切な語あるいは人名を答えなさい。

設問2. 下線部(㉑)について。ウル、ウルク、またはラガシュについて述べたつぎの記述(あ ~ え)より正しいものを1つ選びなさい。

あ. ウルの遺跡からは世界最古の農耕の痕跡が発見されている。

い. ウルのジグuratの塔上には、守護神の月の神をまつる神殿があった。

う. ウルクは、ユーフラテス川下流域、ウルの南方に位置していた。

え. ラガシュの王ギルガメシュを主人公とする英雄叙事詩『ギルガメシュ叙事詩』において描かれた洪水伝承は、『旧約聖書』のノアの箱船の物語の原型となった。

設問3. 下線部(㉒)について。このときメソポタミアの統一国家を樹立したアッカド人の王は誰か。その名前を答えなさい。

設問4. 下線部(㉓)について。バビロンは、新バビロニア王国の都としても繁栄したが、その新バビロニア王国最盛期の王で、前586年にユダ王国を滅ぼしたのは誰か。その名前を答えなさい。

設問5. 下線部(㉔)について。古バビロニア王国は前16世紀初めに滅んだが、その地域は、ザグロス山岳地帯から侵入した民族により支配されるに至った。この民族の名称を答えなさい。

設問6. 下線部(㉑)について。ハンムラビ王の制定したハンムラビ法典について述べたつぎの記述(あ ~ え)より正しいものを1つ選びなさい。

あ. シュメールの法慣習の特徴であった同害復讐原則が否定された。

い. 200条をこえる条文を有し、刑法集・勅法集・法学説・法概論の4部からなっていた。

う. 身分の違いによる刑罰の差を否定する先進的な内容を有していた。

え. ペルシアの古都スサで、石碑に楔形文字で刻まれた原文が発見された。

設問7. 下線部(㉒)について。この3王はいずれも第4王朝期の王である。3王の名前をすべて答えなさい。

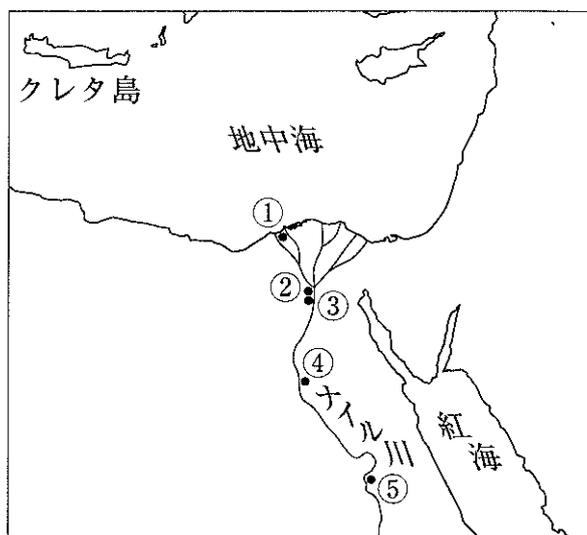
設問8. 下線部(㉓)について。クレタ島を中心に栄えた文明をクレタ文明というが、このクレタ文明は、前1400年ころギリシア人の一派によって破壊された。ミケーネ文明の主要な担い手ともされる、このギリシア人の一派は何人と称されるか。答えなさい。

設問9. 下線部(㉑)について。下の文は、第18王朝の王アメンホテプ4世が断行した宗教改革の内容を述べたものである。(ア)・(イ)に入る適切な神の名をそれぞれ答えなさい。

「アメンホテプ4世は、(ア)を主神とする多神教を否定し、(イ)を唯一神とする宗教改革をおこなった。」

設問 10. 下線部(1)について。前 525 年にエジプトを征服したアケメネス朝ペルシア帝国第 2 代の王は誰か。その名前を答えなさい。

設問 11. 二重下線部について。メンフィス・テーベ・テル = エル = アマルナの位置は、下の地図上のどこであったか。それぞれ正しい場所を 1 つずつ選びなさい。



(中央大/改)